

質問の件名及び質問の趣旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 隠し続けてきた職員数の実態について（40分）</p> <p>(1) 志木市等よりも10億円/年以上も多い人件費の実態。 (2) 税金を市民サービスよりも人件費に費やす理由と責任は。 (3) 市長の考える財政改革と行政改革は。 (4) 今後の職員削減と市政について。 (5) 類似市（16市）と比較した職員数（下記の条件等で算出）</p> <p>（条件）</p> <p>1 比較対象：埼玉県内の類似市（Ⅱ－1）16市。 2 職員数：平成27年4月1日の職員数（一部事務組合も同様） 3 人口：平成27年4月1日の人口 4 標準財政規模：各市の平成26年決算時の数値 5 一部事務組合案分職員の算出の仕方： 各一部事務組合職員数×該当市の人口（16市）/一部事務組合構成市町村の総人口で算出した合計人数 6 病院職員：公営企業会計の病院職員 7 各施設等職員：市民センター等施設、保育所、老人福祉施設、その他社会福祉施設、勤労センター等施設、公民館、その他社会教育施設、給食センター、保健体育施設、義務教育（小学校、中学校）、その他学校教育施設の職員とする。</p> <p>（計算式）</p> <p>① 各市職員数（普通会計＋公営企業等会計）＋一部事務組合案分職員数－病院職員－各施設等職員＝各市比較職員数（A） ② （A）×標準財政規模（類似各市/鶴ヶ島市）×鶴ヶ島市の比較職員数＝鶴ヶ島市の割合で算出した職員数（B） ③ （A）－（B）＝鶴ヶ島市と比較した職員の差</p> <p>2 職員の資質とやる気について（20分）</p> <p>(1) 問題職員の実態と職員研修について。 (2) 職員の対応等に対する市民のクレームの状況 (3) 職員にやる気と元気が出ていない原因</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>